

山根議員、取締役辞任へ

伊勢の廃棄物
処理会社
社長が脱税容疑逮捕

【伊勢】伊勢市上地町の医療廃棄物処理会社メスキュード中央社長の深間秀樹容疑者(47)が、約四千二百万円を脱税した法人税法違反の疑いで逮捕されたのを

受け、同社の取締役を務めている山根隆司伊勢市議会議員(57)は

十九日、同社を辞任する意向を明らかにした。

山根議員によると、深間社長とは生家が近く、古い付き合いで、平成六年、同社前身のメスキュード三重の設立時に数十万円を出資して取締役となった。社名が変わった十六年十二月で

ろから毎月十数万円の報酬を受け取ってきたという。

同社では実務に携わらず設立後の取締役会は委任してきたとし、「経理内容も売り上げも分からなかった」と述べ、脱税は知り得なかったとした。取締役の身分については、「これを

機会に辞任する考え」と話した。

報酬は計九百万円程度とみられるが、「返還する理由はない」としている。

山根議員は平成十五年に旧伊勢市議に初当選し、合併後との通算で三期目。

メスキュード 落札資格停止

県が処分

県は十九日、社長が脱税事件で逮捕された医療廃棄

物処理会社「メスキュード中央」(伊勢市上地町、深間秀樹社長)の落札資格を停止した。期間は二十日から四カ月間。

深間社長は今日十五日、実際には購入していない機械を購入したように装う手口で法人税約四千二百万円を脱税したとして、法人税法違反容疑で津地検に逮捕された。